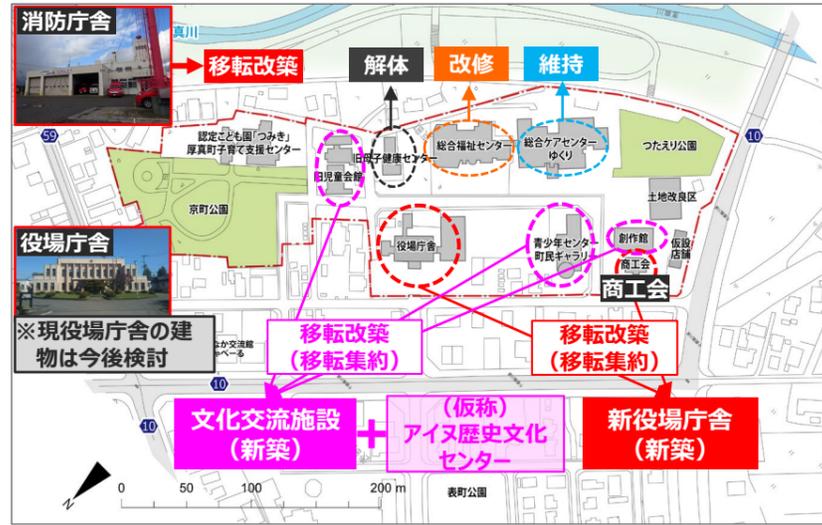


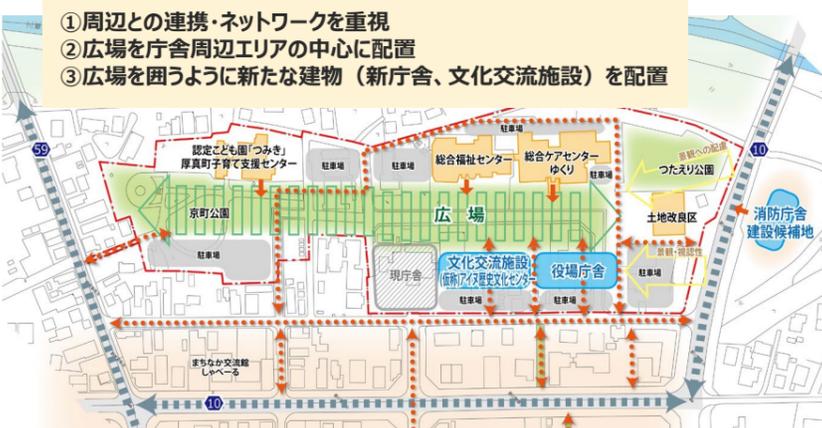
# 各施設の活用方針

施設の現状のほか、町の総合計画や公共施設等総合管理計画個別計画などの上位・関連計画における方向性を踏まえ、庁舎周辺エリアにおける施設活用方針を設定しました。



# 土地利用計画

## (1) 土地利用計画 様々な機能・活動（アクティビティ）が、屋内・屋外にわたり、つながる配置計画へ



## (2) 動線計画

- ① 車両動線…町道の付替や改良の実施、庁舎周辺エリアの外周部に駐車場を配置
- ② 歩行者動線…周辺地区からのアクセス動線確保、建物と広場が一体となった人中心の空間へ転換、建物間を雨に濡れずに行き来できる歩行者動線の確保も検討



※あくまで現段階の計画であり、今後変更となることがあります。

# 想定事業スケジュール

区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)
役場庁舎			実施設計	施工(建設)				供用
文化交流施設(仮称)アイヌ歴史文化センター				実施設計	施工(建設)			供用
総合福祉センター					実施設計	施工(改修)		供用
広場・公園					実施設計	施工		供用
消防庁舎		基本設計	実施設計	施工(建設)				供用

# 概算事業費

No.	施設名	区分	概算事業費(億円)	No.	施設名	区分	概算事業費(億円)
1	新役場庁舎	建設	20.7	7	旧母子健康センター	解体	0.1
2	文化交流施設	建設	16.4	8	外構(道路・公園・駐車場等)	整備	7.5
	文化交流施設		13.9	9	その他(備品)	備品	2.0
	(仮称)アイヌ歴史文化センター		2.5	合計			50.6
3	青少年センター	解体	0.8	10	新消防庁舎	建設	13.0
4	創作館	解体	0.1	11	現消防庁舎	解体	0.5
5	児童会館	解体	0.3	合計			13.5
6	総合福祉センター	改修	2.7				

※調査・計画設計費、工事監理費、移転費等は含まれていません。  
 ※(仮称)アイヌ歴史文化センターには、展示工事費は含まれていません。  
 ※今後の社会情勢により建設資材の高騰や人件費の上昇などにより変動する可能性があります。

財源は、国土交通省「都市構造再編集集中支援事業」や「サステナブル建築物等先導事業」、「優良木造建築物等整備推進事業」、環境省「レジリエンス強化型ZEB実証事業」、林野庁「JAS構造物材利用拡大事業」、内閣府「アイヌ政策推進交付金」等の各種補助・交付金制度について情報収集を行い、積極的な活用を目指します。

参考：厚真にぎわい会議（町民ワークショップ）で出されたアイデア例  
 ～庁舎周辺にあったらいいもの～

# 厚真町庁舎周辺等整備 基本構想・基本計画

## 概要版



令和5年3月



# 厚真町庁舎周辺等整備事業について

北海道胆振東部地震を教訓とした防災力の向上、町民の皆さまに親しまれ、集まれるような役場庁舎と周辺施設の整備に向けた「基本構想・基本計画」を策定します。



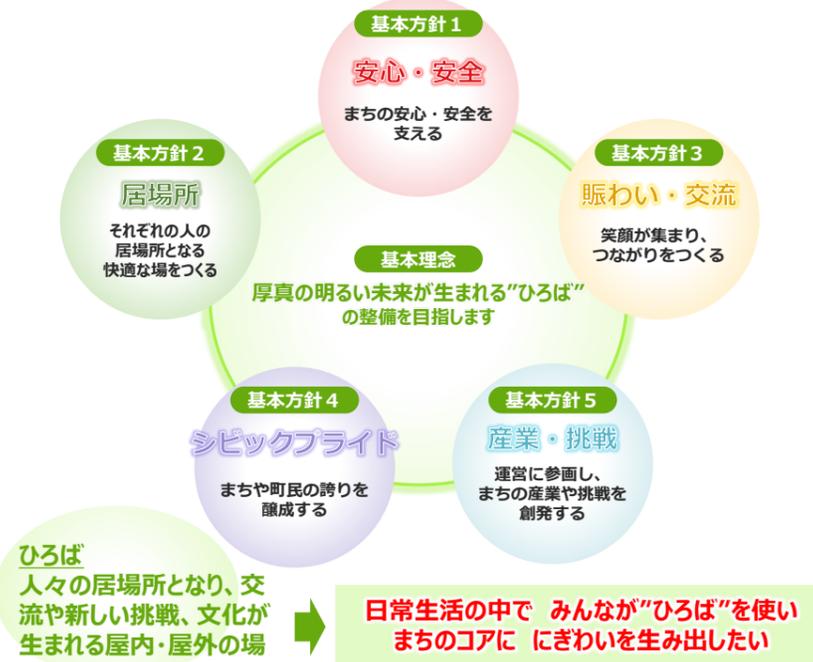
## 対象エリア

本計画は、役場庁舎をはじめとする9の公共施設が立地するエリアを対象範囲（以下、「庁舎周辺エリア」という）とします。



## 基本理念・基本方針

庁舎周辺エリアは、様々な都市機能が集積した、町の中心＝「まちのコア」となるエリアです。今後も、庁舎周辺エリアは、災害時における司令塔としての役割を担いながら、様々な都市機能を連携・融合させ、人々の居場所となり、多様な交流や新しい挑戦、文化が生まれる屋内・屋外の場＝「ひろば」をつくり、「ひろば」を日常生活の中でみんなが使うことによって、「まちのコア」に賑わいを創出することを目指します。



# 各施設の基本計画

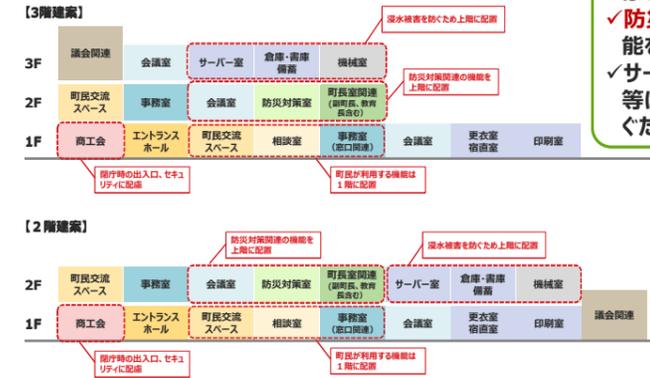
## (1) 役場庁舎

想定規模 約2,900㎡ ※今後の詳細検討を踏まえて精査

### 整備方針

- 訪れやすく誰もが利用しやすいサービス拠点づくり**
  - 相談内容やプライバシーに合わせた窓口⇒ 待合スペースの拡充
  - 情報発信
- コンパクトでストレスフリーな庁舎ワークプレイスづくり**
- 安全安心・頼りがいのある将来を見据えた行政拠点づくり**
  - 災害対策本部機能に相応しい安全対策
  - アクセスしやすい動線計画

✓町民が利用する機能は1階に配置  
✓防災対策関連の機能を上階に配置  
✓サーバー室・機械室等は、浸水被害を防ぐため上階に配置



## (2) 文化交流施設・(仮称)アイヌ歴史文化センター

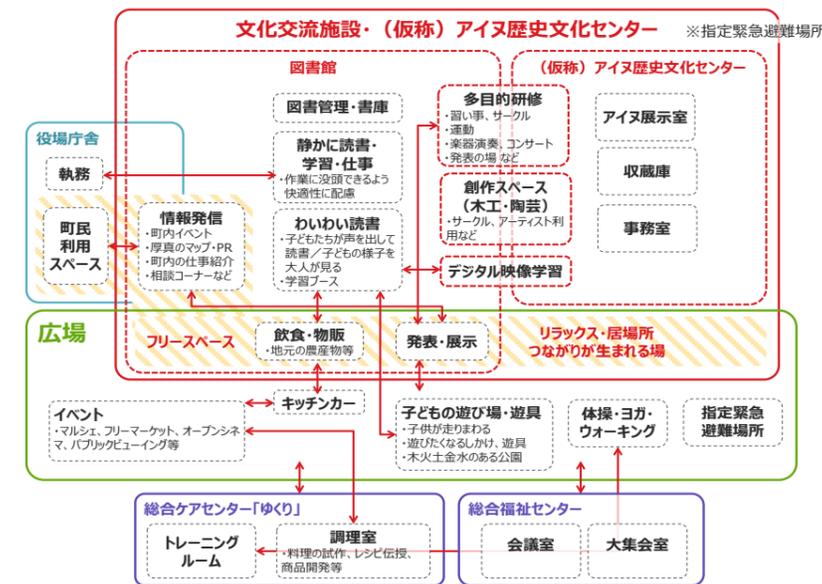
想定規模 ※今後の詳細検討を踏まえて精査  
文化交流施設：約2,000㎡ (仮称) アイヌ歴史文化センター：約360㎡

### 整備方針

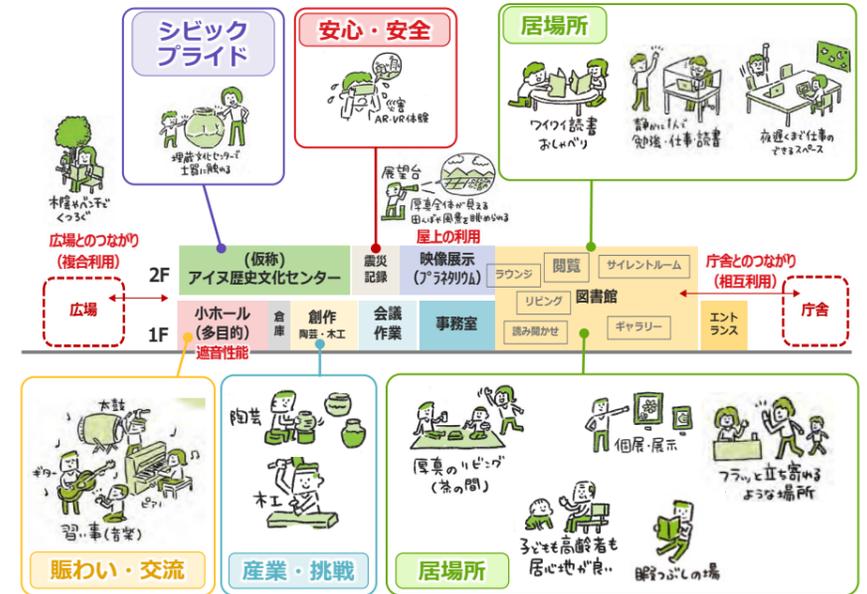
- 機能が連携・融合した施設づくり**
  - 新たな活動や交流の創出、新たな厚真の文化を育む場づくり
- 施設と広場が一体となった「まちのリビング」づくり**
  - うち(施設)とそと(広場)が一体
  - まちの「居場所」となる居心地の良い空間
- 町民が参加する施設の運営・活用**
  - 整備して終わりではなく、町民自らが施設の運営や活用に参加する仕組みを構築

### ▼機能の関連性

複合化することにより、多様な使い方ができるスペースを創出



## ▼文化交流施設・(仮称)アイヌ歴史文化センターの機能配置イメージ

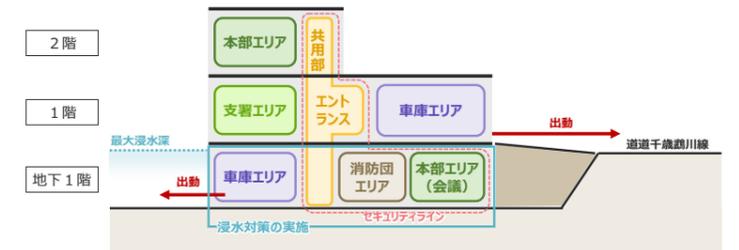


## (3) 消防庁舎

想定規模 約2,000㎡ ※今後の詳細検討を踏まえて精査

### 整備方針

- 消防対策活動拠点として機能を発揮できる施設の整備**
  - 迅速な消防・救急活動、将来の変化に対応、災害に強い安全な庁舎
- 消防に関わる訓練・教育の拠点となる施設の整備**
  - 技術習得・技術向上の実践的訓練施設
  - 火災予防や防災訓練等の普及啓発、防災関連情報の発信
- 人と環境にやさしい施設の整備**



## 防災計画

### ①洪水浸水対策の考え

- 役場庁舎、文化交流施設・(仮称)アイヌ歴史文化センターは、**土地のかさ上げ**や**1階の床レベルの高さ設定**、**浸水防水対策の実施**を検討
- (仮称)アイヌ歴史文化センターは、貴重な文化財を保護するため、**2階レベルに配置**

### ②災害対策本部

- 地震 役場庁舎の被害を確認し、安全に使用することが可能と判断した場合、**庁舎内**に災害対策本部を設置
- 洪水 浸水による庁舎周辺エリアの孤立化を避けるため、厚真川の警戒レベルに応じて、防災対策を指揮する機能を、**厚真中央小学校**や**厚真中学校**などの既存公共施設に設置することを想定。

### ③備蓄庫

- 庁舎周辺エリアにある備蓄倉庫は、当エリアにおける洪水浸水リスクを考慮し、浸水想定**区域外の新町の敷地に新たに整備**